

## 第2号報告資料

## 平成30年度事業報告書

(平成30年2月1日から平成31年1月31日まで)

## ①会員の研究発表会、学術講演会等の開催（定款第4条第1号）

- ・第118回日本外科学会定期学術集会を下記のとおり行った。

日時 平成30年4月5日～7日

場所 東京国際フォーラム, JPタワー ホール&amp;カンファレンス（東京都）

参加者数 15,277名 演題数 3,206題

テーマ 「外科学の新知見を求めて：In search of new knowledge for surgery」

- ・学術集会の在り方を検討した。
- ・「日本外科学会学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」を策定し、周知の上、試行した。

## ②機関誌、論文図書等の刊行（定款第4条第2号）

- ・学会誌「日本外科学会雑誌」を下記のとおり発行した（通常号は電子ジャーナルとして発行し、希望により配本とした）。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成30年 2月10日	119	臨時増刊2	38,700
平成30年 3月 1日	119	2	7,100
平成30年 5月 1日	119	3	7,500
平成30年 7月 1日	119	4	7,500
平成30年 9月 1日	119	5	7,600
平成30年11月 1日	119	6	7,600
平成31年 1月 1日	120	1	7,700

- ・Official Journal「Surgery Today」およびオンライン・ファーストを下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数（電子ジャーナル発行分含む）
平成30年 2月1日	48	2	40,000
平成30年 3月1日	48	3	40,000
平成30年 4月1日	48	4	40,000
平成30年 5月1日	48	5	40,000
平成30年 6月1日	48	6	40,000
平成30年 7月1日	48	7	40,000
平成30年 8月1日	48	8	40,000
平成30年 9月1日	48	9	40,000
平成30年10月1日	48	10	40,000
平成30年11月1日	48	11	40,000
平成30年12月1日	48	12	40,000
平成31年 1月1日	49	1	40,000

- ・ Case Report 誌「Surgical Case Reports」を下記のとおり電子ジャーナルとして発行した。

発行年月日	巻
平成 30 年 2 月 1 日	3
平成 30 年 3 月 1 日	3
平成 30 年 4 月 1 日	3
平成 30 年 5 月 1 日	3
平成 30 年 6 月 1 日	3
平成 30 年 7 月 1 日	3
平成 30 年 8 月 1 日	3
平成 30 年 9 月 1 日	3
平成 30 年 10 月 1 日	3
平成 30 年 11 月 1 日	3
平成 30 年 12 月 1 日	3
平成 31 年 1 月 1 日	4

- ・ 外科専門医予備試験の過去問題集を書籍化し、発刊した。

### ③内外の関係学術団体との連絡及び提携（定款第 4 条第 3 号）

- ・ German Surgical Society (GSS), American College of Surgeons (ACS), Society of University Surgeons (SUS) と学術交流を行い、若手外科医の交換発表などを行った。
- ・ Royal College of Surgeons England (RCS) の International Surgical Training Programme (ISTP) の参加候補者を決定した。(6 名)  
井上 英美 (横浜市立大学)  
佐藤 力弥 (南風病院)  
杉本 卓哉 (熊本赤十字病院)  
西村 公男 (大和高田市立病院)  
西尾 博臣 (京都大学)  
孫 敬洙 (東京慈恵会医科大学)
- ・ 日本医学会, 日本医学会連合, 日本医療機能評価機構, 日本女性外科医会, 「2020 年東京オリンピック・パラリンピックに係る救急災害医療体制を検討する学術連合体」の活動に積極的に参画した。
- ・ 外科系 18 学会と外科関連学会協議会を組織して, 外科系の横断的な諸問題を協働で検討した。
- ・ インド, およびアフリカ諸国との交流制度の仕組みを検討した。

### ④外科学に関する研究及び調査（定款第 4 条第 4 号）

- ・ 標準手術ビデオを 5 本作成して, ビデオライブラリーに収載した。  
森 正樹 (九州大学)  
「進行結腸癌に対する単孔式腹腔鏡下手術」  
中村 清吾 (昭和大学)  
「根治性と整容性のバランスに配慮した乳癌の手術」  
伊達 洋至 (京都大学)

「心臓血管外科手術手技を用いた呼吸器外科手術」

金子 弘真（東邦大学）

「腹腔鏡下肝切除術：拡大肝左葉切除術」

窪田 正幸（新潟大学）

「新生児・乳児卵巣滑脱ヘルニアの病態と治療」

- ・AIを活用した取り組みについて検討した。

⑤外科専門医の育成と専門医制度の運用（定款第4条第5号）

- ・外科専門医制度に則り，外科専門医を認定し，指導医を選定し，認定登録医を登録し，指定施設と関連施設を指定した。
- ・日本専門医機構と協働して，わが国の新しい専門医制度の運用のために，「外科領域専門研修プログラム」を審査し，専攻医の研修登録を行うと共に，専攻医の研修状況の管理を開始した。
- ・日本専門医機構と協働して，専門医共通講習および外科領域講習を開催し，また，E-learningのシステムを構築した。
- ・外傷講習会を開催し，また，日本外傷診療研究機構，日本 Acute Care Surgery 学会，日本腹部救急医学会，日本外傷学会などの協力を得て，専攻医の外傷の修練を強化した。
- ・厚生労働省からの補助金を得て，「外傷外科医養成研修事業」として，テロ災害などの傷病者の診療に関わる外科医の資質と技能の向上を図った。
- ・「日本における外科研修の現状に関する全国アンケート調査」の分析結果を公表した。

⑥研究の奨励と優秀な業績の表彰（定款第4条第6号）

- ・「外科研究の利益相反に関する指針」を改訂し，該当者から利益相反自己申告書を回収した。
- ・第20回臨床研究セミナーを下記のとおり行い，ホームページで動画配信した。  
日時 平成30年4月7日  
場所 東京国際フォーラム（東京都千代田区）参加者数 850名
- ・第21回臨床研究セミナーを日本臨床外科学会と共催で下記のとおり行い，ホームページで動画配信した。  
日時 平成30年11月24日  
場所 グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール（東京都港区）参加者数 241名
- ・第25回研究奨励賞（Surgery Today Research Award）を表彰した（5名）。  
宮崎 拓郎（長崎大学大学院腫瘍外科）  
National survey of de novo malignancy after solid organ transplantation in Japan 48 : 618-624  
福島 浩平（東北大学大学院医学系研究科分子病態外科学）  
Postoperative therapy with infliximab for Crohn's disease : a 2-year prospective randomized multicenter study in Japan 48 : 584-590  
宮島 正博（札幌医科大学呼吸器外科）  
What factors determine the survival of patients with an acute exacerbation of interstitial lung disease after lung cancer resection? 48 : 404-415

吉川 泰司 (大阪大学心臓血管外科)

Myocardial regenerative therapy using a scaffold-free skeletal-muscle-derived cell sheet in patients with dilated cardiomyopathy even under a left ventricular assist device : a safety and feasibility study 48 : 200-210

石川 隆壽 (北海道大学消化器外科 I)

Post-reperfusion hydrogen gas treatment ameliorates ischemia reperfusion injury in rat livers from donors after cardiac death : a preliminary study 48 : 1081-1088

• Surgical Case Reports 優秀論文賞 (Best Surgical Case Reports Award) を表彰した (11名).  
増田 信也 (東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座心臓血管外科学分野)

Surgical removal of calcified amorphous tumor localized to mitral valve leaflet without mitral annular calcifications (2015) 1 : 39

古閑 悠輝 (熊本大学医学部附属病院消化器外科)

Multiple skeletal muscle metastases from poorly differentiated gastric adenocarcinoma (2015) 1 : 105

内原 智幸 (熊本大学大学院消化器外科学)

Small bowel perforation due to indistinguishable metastasis of angiosarcoma : case report and brief literature review (2016) 2 : 42

阿部 篤 (九州大学大学院医学研究院臨床・腫瘍外科学)

IgG4-related sclerosing mesenteritis causing bowel obstruction : a case report (2016) 2 : 120

川端 誠一 (熊本大学医学部附属病院小児外科・移植外科)

Liver transplantation for a patient with Turner syndrome presenting severe portal hypertension : a case report and literature review (2016) 2 : 68

緒方 健一 (済生会熊本病院外科)

Pyoderma gangrenosum in an abdominal surgical site : a case report (2015) 1 : 122

富田 晃一 (東京医科大学八王子医療センター消化器外科・移植外科)

Long-term survival of a recurrent gallbladder carcinoma patient with lymph node and peritoneal metastases after multidisciplinary treatments : a case report (2016) 2 : 12

新谷 康 (大阪大学大学院医学系研究科外科学講座呼吸器外科学)

Pleuropneumonectomy for a large thymoma using median sternotomy followed by posterolateral thoracotomy (2015) 1 : 75

安立 弥生 (名古屋大学医学部附属病院乳腺内分泌外科)

Postoperative elevation of CA15-3 due to pernicious anemia in a patient without evidence of breast cancer recurrence (2015) 1 : 126

新開 統子 (筑波大学医学医療系小児外科)

A case of unusual histology of infantile lipoblastoma confirmed by PLAG1 rearrangement (2015) 1 : 42

大関 舞子 (大阪医科大学附属病院一般・消化器外科)

Torsion of an accessory spleen : a rare case preoperatively diagnosed and cured by single-port surgery (2015) 1 : 100

- ・第118回定期学術集会のビデオ演題のうち、優秀な11演題をビデオライブラリーに収録して、制作補助費を支給した。
  - 千田 嘉毅（愛知県がんセンター中央病院消化器外科）  
「膵頭十二指腸切除術における陥入法の有用性（Usefulness of invagination technique for pancreaticojejunostomy after pancreaticoduodenectomy）」
  - 副島 雄二（九州大学消化器・総合外科）  
「生体ドナー肝切除における minimally invasive surgery：上腹部正中小切開による手術手技」
  - 岡島 英明（京都大学肝胆膵・移植外科）  
「Simultaneous Liver and Kidney Transplantation (SLK) in Kyoto University Hospital」
  - 文 敏景（がん研有明病院呼吸器センター外科）  
「Effort of new VATS approach with safety and radicality」
  - 松宮 護郎（千葉大学心臓血管外科）  
「弁輪破壊を伴う感染性心内膜炎に対する手術」
  - 塩見 明生（静岡県立静岡がんセンター大腸外科）  
「直腸がんに対する鏡視下手術の新しい取り組み ロボット支援下手術」
  - 藤原 齊（京都府立医科大学消化器外科）  
「縦隔アプローチによる上中縦隔郭清手技の利点と課題」
  - 菱木 知郎（国立成育医療研究センター腫瘍外科/国立がん研究センター中央病院小児腫瘍外科）  
「高リスク神経芽腫における腫瘍摘出と臓器温存」
  - 木下 貴之（国立がん研究センター中央病院乳腺外科）  
「整容性を重視した早期乳癌ラジオ波焼灼療法（RFA）標準化のための多施設共同試験」
  - 板野 理（国際医療福祉大学消化器外科）  
「Laparoscopic Parenchyma-Sparing Anatomical Liver Resection（LaPSAR）」
  - 足立 智彦（長崎大学移植・消化器外科）  
「小開腹下再建を伴う腹腔鏡下膵頭十二指腸切除：低悪性度病変における検討」
- ・「日本外科学会臨床研究助成」（JSS Clinical Investigation Project Award）の補助金を支給した（1名）。
  - 藤原 俊義（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科消化器外科学）  
「ナショナルビッグデータを用いた新専門医制度の地域外科医療に及ぼす影響の評価と人工知能（AI）を用いた適正医師配置シミュレーションプラットフォームの確立」
- ・「若手外科医のための臨床研究助成」（JSS Young Researcher Award）の補助金を支給した（5名）。
  - 大津 甫（九州大学病院別府病院外科）  
「リンチ症候群のミスマッチ修復異常の下流で活性化されるキナーゼと免疫寛容獲得機構の解明」
  - 佐伯 吉弘（広島大学消化器移植外科）  
「肥満症における慢性炎症誘導機構の解明と制御法の開発」
  - 中川 茂樹（熊本大学大学院消化器外科）  
「網羅的遺伝子解析に基づいた、LOXを標的とした新規肝細胞癌治療薬の開発」

原田 剛佑（山口大学医学部附属病院第一外科）

「虚血組織に特異的に発現する細胞表面抗原の同定とエクソソームを用いた cell-free 再生療法の開発」

藤野 志季（大阪大学大学院医学系研究科外科学講座消化器外科学 I）

「PDGFR 制御による大腸癌遠隔転移抑制機構の解明」

- ・ National Clinical Database（NCD）を活用した臨床研究の助成を検討すると共に、複数領域に跨る NCD データを利活用した臨床研究を行う場合の調整窓口を務めた。

⑦生涯学習活動の推進（定款第 4 条第 7 号）

- ・ 第 93 回卒後教育セミナーを下記のとおり行った。

日時 平成 30 年 4 月 7 日

場所 東京国際フォーラム（東京都千代田区） 参加者数 1,786 名

テーマ 「医工連携」

- ・ 第 94 回卒後教育セミナーを下記のとおり行った。

日時 平成 30 年 11 月 24 日

場所 グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール（東京都港区） 参加者数 482 名

テーマ 「術後の重大合併症の予防と対策」

- ・ 第 26 回生涯教育セミナーを下記のとおり行った。

テーマ 「最新の診断技術」

（北海道地区）

日時 平成 31 年 1 月 12 日

場所 北海道大学医学部フラテホール（札幌市） 参加者数 131 名

（東北地区）

日時 平成 30 年 9 月 15 日

場所 TKP ガーデンシティ仙台（仙台市） 参加者数 82 名

（関東地区）

日時 平成 30 年 9 月 15 日

場所 ヤクルトホール（東京都港区） 参加者数 210 名

（中部地区）

日時 平成 30 年 9 月 15 日

場所 富山大学医学部杉谷キャンパス（富山市） 参加者数 67 名

（近畿地区）

日時 平成 30 年 5 月 19 日

場所 大阪国際交流センター（大阪市） 参加者数 254 名

（中国四国地区）

日時 平成 30 年 9 月 7 日

場所 広島県医師会館（広島市） 参加者数 126 名

（九州地区）

日時 平成 30 年 5 月 12 日

場所 電気ビルみらいホール（福岡市） 参加者数 142 名

- ・ 若手外科医の手術を含めた診療能力向上のための「病院間医師交流による若手外科医師の

教育プロジェクト」を終了した。

⑧外科診療に関する情報や指針の提供（定款第4条第8号）

- ・ National Clinical Database (NCD) に参加し、外科症例登録のデータベース事業に協力した。
- ・「臨床医学の教育研究における死体解剖のガイドライン(Guidelines for Cadaver Dissection in Education and Research of Clinical Medicine)」に基づく Cadaver Surgical Training (CST) の普及を図った。

⑨国民に対する外科医療の情報提供の啓発（定款第4条第9号）

- ・ 広報活動として、第44回市民講座を下記のとおり行い、ホームページで動画配信した。  
 日時 平成30年4月8日  
 場所 コングレスクエア日本橋（東京都中央区）  
 テーマ 「がんと手術～治療最前線～」

⑩医療政策に関する建議（定款第4条第10号）

- ・ 外科系学会社会保険委員会連合（外保連）に参加し、外科技術料に関する適正な診療報酬についての調査収集と、その結果を元にした関係官庁などへの要望書提出に協力した。
- ・「医療事故調査・支援センター」（日本医療安全調査機構）の支援団体として、死因の調査分析事業に協力した。
- ・ 高難度新規医療技術に該当しうる術式のリストを関連学会と協働で改定した。
- ・「学会認定・臨床輸血看護師制度協議会」に協力した。
- ・「特定行為に係る看護師の研修制度」の支援のために「術後管理包括指示書作成手順」を作成し、日本麻酔科学会と定期的に懇談すると共に、外科医の労働環境の改善に向けたタスクシフトのアンケート調査を National Clinical Database (NCD) と協働で行った。
- ・ 日本女性外科医会と協働で、女性医師支援のためのアンケート調査などを行った。
- ・ 外科医へのインセンティブに関するアンケート調査を行った。
- ・ 外科医の無過失補償制度について検討した。

⑪その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第11号）

- ・ 役員を選任した。
- ・ システムサーバーやオンラインサービスなどの内容の見直しを行った。
- ・ 第120回定期学術集会での記念事業の開催について検討を行った。
- ・ 財務の健全化に向けた検討を行った。
- ・ 事務所の移転に向けた検討を行った。